

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
340 エイズ予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業種別	継続		
事業期間	永年		
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦	488-5115
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
中事業		エイズ予防事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 市民に対してイベントの開催やパンフレット等の配布を通じ、エイズの正しい知識の啓発を図る。また、感染の早期発見・治療のための検査や相談業務を実施し、感染の予防及びまん延の防止を図る。		全体事業概要 一般市民を対象にエイズ予防に関すること（相談・検査・啓発等）を実施 1 エイズ抗体検査（相談は随時実施） 電話・来所にて予約を受け付け、保健師が相談・採血実施。医師または保健師より結果を本人へ対面で説明、陽性時は医療機関への紹介を行っている。 費用は無料で、匿名で実施。 実施日時 毎週火曜日 午後6時～午後8時 / 毎週木曜日 午前9時～午前11時 HIV検査普及週間・世界エイズデーの際には、休日即日抗体検査を実施している。 2 普及啓発 中・高校にて、エイズや性感染症についての正しい知識と予防方法について相談・指導。 世界エイズデーに伴う街頭啓発やイベントの開催。				
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施（4名） 2 高校へ思春期出前講座を実施（2校 4回） 3 HIV検査（224名）（毎週水・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施（9名）		1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施（3名） 2 高校へ思春期出前講座を実施（3校 5回） 3 HIV検査（201名）（毎週火・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施（5名）	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その1週間後に休日即日抗体検査を実施（3名） 2 高校等へ思春期出前講座を実施（2校4回、2施設4回） 3 HIV検査（196名）（毎週火・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施（9名） 5 教員、施設指導者対象とし	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施 2 高校へ思春期出前講座を実施 3 HIV検査（毎週火・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施	1 和大祭にて啓発イベント（パンフレットやグッズの展示及び配布、エイズに関するクイズ等）を行い、その2週間後に休日即日抗体検査を実施 2 高校等へ思春期出前講座を実施 3 HIV検査（毎週火・木曜日） 4 HIV検査普及週間の際に休日即日抗体検査を実施		

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,199	906	1,088	2,416	2,557	2,435	2,511		2,511	
伸び率（%）	-	-	▲9.3%	166.7%	135.0%	0.8%	▲1.8%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	8,454	6,700	8,454	6,481	6,481	6,474	6,539	6,539	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	96	296	296	
	小計	8,454	6,700	8,454	6,481	6,481	6,570	6,835	6,835	
国庫支出金	598	505	549	1,173	1,153	1,091	1,134		1,134	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0		0	
市債	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他	8	0	2	0	2	0	2		2	
一般財源（税等）	593	401	537	1,243	1,402	1,344	1,375		1,375	
所要人数（人）	正規職員	1.10	0.88	1.10	0.82	0.82	0.81	0.82	0.82	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.06	0.14	0.14	
主な予算内訳	報償金1,590千円、手数料 299千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
			目標値	実績値	達成度（%）	目標値	実績値	達成度（%）
活動指標	検査・相談の啓発の種類	種類	10	10	10			
成果指標	検査相談数	件	400	281	70.3%	400	233	58.3%
			400	238	59.5%	400		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現状のまま維持継続するが、個別施策層へのHIVやエイズ予防について充実を図る。
見直し・改善内容	HIV検査相談件数が減少している理由の一つとして、HIVやエイズに対する認識不足が挙げられるため、正しい知識の普及及び検査の積極的啓発を個別施策層を中心に行っていく。